

かがやくまちに

青年市民会議が提言書提出

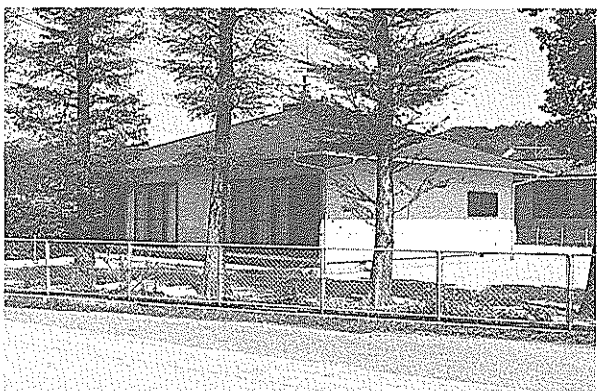
南国市青年市民会議の二年間の任期が終了。三月三十日に市役所で市長に提言書『かがやくまちに』を手渡しました。青年市民会議は、青年の自由な発想の中から新しいふるさとづくりの提言を、会員二十七人で平成元年の四月十一日に

発足。発足以来、毎月の学習会や姉妹都市岩沼市の青年市民会議との研究交流会などを行うなど、提言書の作成に向けて、市政の研究に努めてきました。提言書は、まちづくりの原点は住みよいつころを大前提にした「南国市に望むこと」「明日のために今しなければならぬこと」「未来に羽ばたく南国市のために」の三部構成で、青年市民会議の現代のまほろばに対する果てしない夢と強い願望が込められています。



末政隆一 会長

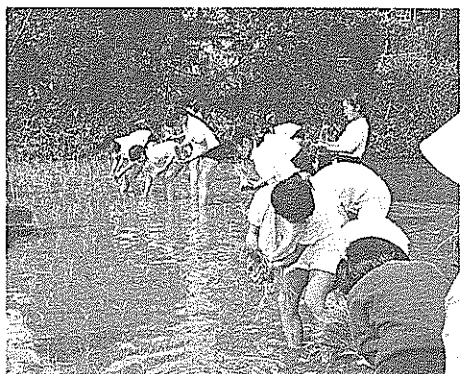
三月三十日、私たち南国市青年市民会議は提言書「かがやくまちに」を市長に提出しました。二年間という限られた任期の中で、若者なりの自由な発想で「こころ豊かな人づくり」「ふところ豊かな産業づくり」をかがやくまちの必要条件としてあげ、二十一世紀の南国市のまちづくりを提案してみました。任期は終わりましたが、これからも青年市民会議はなんらかの形で残していこうと思っています。



久礼田に

老人憩の家完成

建築が進められていた久礼田老人憩の家が、三月二十九日に完成しました。場所は久礼田体育館の隣で、木造平屋建て、建築面積九九平方メートル、総事業費は一千二百六十一万円で、和室、洋間、書庫を備えており地域活動の拠点として使用されます。



十市小で体験農園

藤寿苑の 家族介護者教室



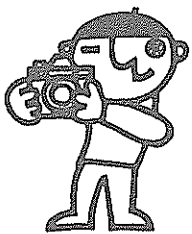
手紙のお礼にと20万円寄附

学校の子どもたちのお役に立てると、四月四日沖繩に住む上原清喜さんが市役所を訪れ、二十万円の寄付金を市長に手渡しました。

上原さんは以前から全国各地の学校に図書やサトウキビを送りつけており、市内の小・中学校に『鳥になって』という本を送ったところ、たくさんのお礼の手紙をもらったことからそのお礼にと寄付をしてくださったものです。



カメラ レポート



古代文化がよみがえる

四月一日、篠原に県立埋蔵文化財センターがオープン、県下の埋蔵文化財が集められます。同センターは県下で唯一の収集から研究、展示までの施設で、時に埋もれた文化財がここでよみがえります。見学を希望される方は、同センター(☎0671)へ前もって予約してください。

県議会議員選挙

溝淵・岡崎氏が当選

県議会議員選挙が四月七日投票。即日開票の結果、南国市選挙区(定数二名)では、溝淵たてお氏と岡崎俊一氏が当選しました。

本市の当日有権者数は三万四千六百五十四人、うち投票率有数は二万二千九百三十一人(投票率六六・二%)でした。

◎溝淵たてお(自現) 九〇四七票
◎岡崎俊一(無新) 七二二四票
◎井上自由(社現) 六五〇七票

